

第4号議案 令和2年度事業活動計画

【全般的な活動について】

激動の2020年度の幕開けとなりました。

ここ数年来の設計業界や建築業界の悩みは、人手不足でした。しかし今年は状況が大きく変わりそうな気がします。新型コロナウイルスの影響で、ホテル業、旅行業等から他の業種へ転職される方も多いのではないかと思います。その意味では、多少、人手不足が解消されるかもしれません。ただし、建築業界は技術の習得に時間のかかる業種なので、短期間で人手不足が解消されるとは思いません。また、日本経済そのものが打撃を受けると建築意欲が失われ、今年度後半からは、建築業界もなんらかの影響を受けると考えられます。現時点でも、商業施設や店舗などが当分建築を見合わせるという話も出始めています。1年後は建築業界や日本経済がどうなっているのか全く予想できませんが、刻々と変化する新型コロナウイルスの影響を考慮しながら、今年度も出来る限り例年通りの活動を行っていききたいと思います。

本年度活動方針

1. 会員増強に務める

正会員の高齢化が目立ち始めています。協会の維持と存続のためには会員増強は欠かせません。本年もこの点を最優先に考え努力したいと思います。

2. セミナーの充実を図る

技術と知識の向上を目的として集会などが許される範囲で各種のセミナーや見学会を企画したいと思います。

若手所員向けの「技術者のための実践講習会」も是非開催したいと思います。

3. 賛助会員による企業PRに務める。

「企業PRの会」を本年度も開催し、我々設計事務所の知らない新製品や材料、製品に対する知識を専門家の立場から発表していただき、我々の設計の参考にしていききたいと思います。

4. 京都府、京都市との交流

懇談会も例年通り開催し、今年度も京都市の都市計画局建築指導部の方とも意見交換会を持ちたいと思います。また、建築4団体と連携して我々が日頃行政に対して思っていること等を要望したいと思います。

5. 働き方改革に対する議論を行う

状況を考慮しながら、設計事務所での在宅勤務のあり方や、業務の効率化の方法について会員相互で議論したいと思います。

新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか現段階では予測できません。しばらくは自粛のまま推移すると思いますがいつかは「平常」に戻ると信じて活動を行っていききたいと思います。会員の皆様のご協力をお願いします。

組織活動について

【総務部会】

1. 今年度は総会後の懇親会を中止しました。例年6月にゴルフ親睦会、夏のビアパーティー、秋の研修旅行、新年会を開催していますが、新型コロナウイルスの影響のため、現時点では未定の状況です。今後の推移を注視しながら、中止あるいは開催時期をずらす等、個々に検討してまいります。この初めて直面する困難に対処しつつ、会員、協力会員、賛助会員との情報交換の充実や活性化の為に努力して参ります。
2. 情報サロン・企業PRの会も昨年度は積極的なご参加を頂きました。深く感謝申し上げます。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大が終息しなければ難しい状況ですが、開催が可能となれば、賛助会員様のご協力、ご支援をより一層賜りますようお願い致します。技術研修部会とも連携を図り、引き続き正会員・協力会員・賛助会員との連携、親睦を深め、技術情報の交換や、新商品のPR等の機会を増やし、会員事務所の研鑽の場として充実させて参ります。
3. 今年度は新型コロナウイルス対策の影響を考慮し、事業費を縮小しています。会員の増強による収入増加と効果的な支出に一層努力し、財政の健全な運営に努力して参ります。会員事務所、協力会員、賛助会員様の益々のご協力ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

【情報交流部会】

〔広報委員会〕

1. 京都府との懇談会、京都市との意見交換会を本年も実施し、最新の情報や意見交換を計り、相互理解を深めます。
2. 京都市建築物安全安心実施計画会議等へ委員として参加し、建築物の質の向上や安全性の向上に協力し、安全で安心な街づくりに参加します。
3. 府・市・その他関連団体へは当会の活動や協力会員のより詳細な情報提供を行い、社会的認知度向上や専業事務所の意義を訴えます。
4. 理事会報告を毎月ニュースレターとして発行し、会員への広報を行います。
5. ホームページを定期的に更新し、最新の協会情報を発信します。
6. 建築関係団体協議会に参加し、各団体の交流と情報交換の活発化を目指します。
7. 京都弁護士会からの委嘱を受け、住宅紛争処理委員の建築士委員として協力します。
8. 京都市立京都工学院高等学校生徒の受入に本年も協力します。

〔事務所運営研究〕

近年、設計監理の発注形態も多様化して来ています。
今迄の考え方だけでは、対応出来ない場面が多くなっています。
これからの設計事務所のあり方を一緒に考えましょう。
新しい知恵を生み出して、生き残る体制づくりを議論します。

【技術研修部会】

〔講習会〕〔見学会〕〔国際交流委員会〕〔次世代委員会〕の4つの活動を行います。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業は少なくとも6月末まで実施できません。また、それ以降も、会員の安全確保を最優先に考え、状況に合わせた事業を行うように致します。

〔講習会〕

令和の時代において先導的な役割を担えるよう、理論的であり高度な技術を勉強できる場をつくりたいと考えています。

1. 令和2年度は「業界の健全な繁栄を図る上で大切となる知識や技術が得られる講演会」を企画し、年3回のセミナー（講習会）を企画開催したいと考えています。開催時期は例年同様に、組合との共催で年3回（7月、10月、1月頃）実施したいと考えています。

〔見学会〕

当協会の特色を生かした建築・工場等の見学会を企画いたします。

1. 国際都市として国際交流にも配慮した見学会を2回程度開催したいと考えています。
※ 「講習会の内容」や「見学したい話題の建物や現場」についてのご要望があれば、担当理事までご連絡いただきますようお願い致します。

〔国際交流委員会〕

建築に関心がある海外の方々と「建築」を通じて直接的な交流ができる企画を立てます。

1. 建築界（建築設計監理業界を含めて）における“人手不足”問題に対応できる海外からの人材の就労についての勉強会を行いたいと考えています。
昨今、各企業において、日本国内での人材不足が近々の問題であり外国人の就労を求めることも必要な情勢であります。また、一方では世界のグローバル化が進むと共に、ITの発展による情報の受信、発信の簡易化 更にその拡散も見られます。
新型コロナの影響はあるものの、国際都市としての京都の位置付けは変わりません。そこで当委員会として以下の目的に寄与する事業を考え、活動したいと考えています。
－KSK会員の国際的感覚への一層なる思いを喚起する。
－海外からの留学生へ日本の建築について情報発信
－海外からの就業者への協力とその受け入れへのKSK会員の勉強等

[次世代委員会]

「実務者のための実践報告会」の実施に向けて企画及び実施したいと考えています。

1. 次世代が実務を行う上で重要となる BIM (Building Information Modeling) の動向や導入に際しての実際を紹介する機会を引き続き設けます。

賛助会員と連携した実務者向けの見学会や、意見交換会や交流会なども、随時開催が可能です。そのような企画の着想がありましたら、ぜひ次世代委員会にご提案ください。また、参加事務所の呼びかけを続けて参りますのでご協力をお願いいたします。

[京都市景観デザイン会議]

令和2年度も同様に景観デザイン会議、景観市民会議、景観デザイン作業部会等に参加いたします。

1. 条例の改正にともなう景観デザインの施策などに対して議論を深め、実務を通して京都市街地の良好な景観の形成が図れるよう活動したいと考えています。
2. 今回の条例で追記された景観デザインレビュー制度などにおける諸問題に関しても専門委員として、協会の一員である事を忘れず真摯に参加及び活動、提言していきたいと考えています。